



男女（みんな）で取り組む防災 ～いざという時の普段力をつけるために～

12月14日、北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターの定池祐季（さだいけゆき）助教を講師に招き、防災講演会を開催しました。

当日は、49名の参加があり、東日本大震災・東北の被災地の様子や、防災・減災の視点からのお話を聞いた後、「非常時持ち出し品ビンゴゲーム」で楽しく防災について学びました。

災害時には、さまざまな課題への対応に追われますが、災害前から見過ごされていた問題点や課題、弱点が特にダメージを受けてしまうため、あらかじめダメージを受けやすい部分を知り見つけ出し、乗り越えていくことと、ダメージを受けた後の回復力を高めることが防災・減災の取り組みであるといえるとお話でした。また、災害時には、普段やっていないことはできない。だから、防災の取り組みと「生活防災」的な日常の取り組みについても両立が求められる、とのことでした。



↑見事1位となって、賞品を受け取る参加者

「非常時持ち出し品ビンゴゲーム」は、非常時持ち出し品リストから、「私ならこれを持っていく」という品を9品（1品は寒さ対策グッズ）選んでビンゴ表に記入、1班から順番に選んだ品物を1品ずつ言っていき、ビンゴになった人が勝ち（先生が5位まで賞品を用意してくれました♪）というものです。

非常用持ち出し袋を用意しなくても…と思ってもなかなか実行に移せない方もいるかと思いますが、ご家族でゲーム感覚で「これが必要だよな！」と話しあってみるといいかもしれません。

「津波や地震などの自然現象を人間の手で防ぐことはできません」という先生の言葉が印象的でした。災害が起きたときに慌てないように、ぜひご家族で防災会議を開きましょう！

釧路市では、男女平等参画相談員による「男女平等参画相談」を行っています

- ・ 相談時間：月～金曜日（祝日・年末年始は除く）午前8時50分～午後5時20分
- ・ 相談内容：①男女平等参画に関する市の施策についての意見もしくは苦情
②男女平等参画の推進を阻害すると認められるものについての申出
③その他、男女平等参画の推進に関する相談
- ・ 相談場所：市役所2階 市民協働推進課・相談室



※電話相談も受け付けます 男女平等参画相談電話 TEL 0154-61-5030

平成24年度釧路市道外派遣事業 参加報告 ～森川美恵子さん、谷岡充さん～

【派遣期間】平成24年8月23日～26日（移動日を含む）

【派遣先】国立女性教育会館「平成24年度男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」

【報告概要】



★フォーラム全体のテーマ

- ①女性のキャリア形成、②男性にとっての男女共同参画、③安全・安心と男女共同参画、④男女共同参画の地域づくり、⑤男女共同参画の拠点

★参加したワークショップ（最後の数字は、上記テーマ番号）※WS＝ワークショップの略

24日(金) シンポジウム「女性の活躍による新たな社会の創出に向けて」

WS「小学生からのデートDV予防教育の実践と地域を超えたネットワーク」③

WS「やってみよう市民協働～学びと実践活動報告」④

25日(土) WS「おらもやるがら あんだもやるべし～考動する推進委員会活動」④

WS「災害・防災と女性関連施設の取組み～政策提言に向けて」⑤

WS「東日本大震災被災地への派遣相談員の経験してみえてきたこと～災害時における男女共同参画センター相談事業の役割」③

WS「震災・原発事故と女性：福島からの報告～あれから1年余～」④

WS「女性と女兒に対するあらゆる形態の暴力の撤廃と防止」③

WS「経験とつながりをいかす復興支援 ソーシャルネットワークプロジェクトから学ぶ仕事づくり・生きがいくくり」④

26日(日) WS「DV被害を受けた女性と子どもたちへのより良い支援について考える」③

WS「震災から学ぶ男女共同参画の地域づくり～学生の視点から」④

（WSについては、一人ずつ違うものに参加しました）

★研修を終えて・・・

駆け込みシェルター釧路で活動を行っているため、その活動に関わりがあるようなテーマのWSに参加することが多くなりました。駆け込みシェルターでの活動への参考になったのはもちろん、全国から集まった、さまざまな活動に参加する人たちと知り合い、話を聞く機会があり、今後は、違った分野へも活動の幅を広げていきたいと感じました。

本派遣事業に応募するまでは、迷いもありましたが、参加してみて本当に良かったと思います。今回、学んだことをこれからの活動にも活かしていきたいと思います。

（森川美恵子さん）

今回、歴代男性として初めて参加させていただき、大変光栄に思いながらも、正直少し不安が残るままフォーラムへの参加となりました。本フォーラムでは、①男性、女性の強みを知ったこと、②男女共同参画も人のつながりやネットワークが必要であると確認できたこと、③女性が決定機関に加わる重要性を知ったこと、④男女共に協働していくことの重要性を知ったこと、の4点を学びました。この他にも学んだことは数多くあり、自分自身が運営する団体や日々の活動、釧路や地域へ活かしていきたいと考えています。男女共同参画について、まだ知識は浅いですが、今後も多くの方とつながり一緒に活動していけたらと考えています。「お互いの強みを理解し繋がり共に協働していくこと」、今後、釧路にとって必要であると思いました。

（谷岡 充さん）